

「こどもシンポジウム」 発表内容のフィードバック、施策への反映について（案）

＜経緯＞

○中学生・高校生年齢の方が主体となり、グループ研究活動を通じて東京の子育て支援について考え、意見を発表する「こどもシンポジウム」を令和2年度より実施。

○ 令和3年4月、都こども基本条例が施行され、条例において、子供が社会の一員として意見を表明することができ、その意見が施策に適切に反映されるよう、都は環境の整備に取り組むものとされたことから、令和3年度は「こどもシンポジウム」を都政に対する子供の意見表明・参加の取組の一つに位置付けて実施（11月21日実施済）。

条例の趣旨（子供へのフィードバック、施策への反映等）を踏まえ、子供の発表内容の取扱いフローを整理

- ① 子供シンポジウムで発表のあった子供からの提案を整理
- ② **「東京都子供・子育て会議」（例年2月期開催）にて、委員から意見やコメントを聴取**
- ③ 委員からの意見を付した提案を、事務局から関係部局に送付
- ④ 関係部局において、コメントを付与（提案内容により、施策や予算への反映を検討）
- ⑤ ④を子供たちにフィードバックする。



こどもシンポジウム ティーンズ・アクションTOKYO 2021

実施概要

- **日時** 令和3年11月21日（日）10時から12時まで
- **場所** 東京ウィメンズプラザ
- **発表者** 都内在住又は在学の中学生・高校生（コア・メンバー） 28名
- **発表テーマ** 以下のとおり
- **研究活動** 東京学芸大生のサポートのもと、約3ヶ月半、オンラインを活用して活動

グループ	テーマ	発表名
1	インクルーシブ社会と子育て	インクルーシブコミュニティ
2	放課後改造計画	ここにある。～皆が放課後リーダーズ～
3	ジェンダー平等と子育て	『誰も取りこぼさない子育て社会』に向けて
4	外国にルーツを持つ子供とくらし	外国にルーツを持つ子どもと暮らし
5	未来の「まち」を考えよう	未来の「まち」を考える



グループ発表概要

グループ 1

テーマ： インクルーシブ社会と子育て
発表名： 「インクルーシブコミュニティ」

<要旨>

- 大人によって育てられるのではなく、自分の状況に合った環境に身を置くことで、家族や友達、そこで出会った人たちとともに育っていくことを「インクルーシブ」と定義
- 特別支援学級の教員へのインタビューを実施。障害のある子供には、社会に出てから自立できるよう、困ったときだけ支援することや他の生徒と同様に接していることなどを聴取
- 中高生へのアンケート調査を実施。複数のコミュニティに参加したことのある中高生は、他者の視点や考え方の気づきが増えること、インクルーシブの重要性は感じて知識がないと感じる者が多いことが判明

<提案>

- 障害のある子供も参加できるイベントの開催や中高生がアクセスしやすい相談の場を提供すること
- 学生が主体となって運営していくコミュニティを行政が支援すること
- 誰かを受け入れ、自分も誰かに受け入れてもらうことで、インクルーシブな社会が作られるのではないか

<関係する都の施策>

○子供家庭支援区市町村包括補助事業（福祉保健局）

区市町村が地域の実情に応じ、創意工夫を凝らして主体的に実施する子供家庭分野における基盤の整備及びサービスの充実を目的とする事業を支援することにより、都における福祉保健施策総体の向上を図る。

当日映像

<https://youtu.be/BiGl1X3JRQY?t=12>

グループ2

テーマ： 放課後改造計画

発表名： ここにある。～皆が放課後リーダーズ～

<要旨>

- 中高生の放課後の居場所の課題は、お金を掛けず過ごせる場所、主体性をもって自由に利用できる場所、学校や自宅の近くにある場所が少ないこと
- 中高生に対するアンケート調査では、8割が放課後を過ごしている場所を自宅と答えている。中高生が気軽に立ち寄れる放課後の居場所が必要。

<提案>

- 既に存在する空間（公園や神社、お寺、教会など）を放課後の居場所に活用できないか
- 公園や神社、お寺、教会を活用するには、「安心安全に過ごせる建物があること」、「Wi-Fi環境が整備されていること」、「お寺や神社、教会に対するイメージを変えること」が必要
- 東京都のサポートがあれば、中高生は今よりも良い「放課後の居場所」を見つけられるのではないか

<関係する都の施策>

- 子供の居場所創設事業（福祉保健局）
子供が気軽に立ち寄ることができ、学習支援や食事の提供を行う「居場所」（拠点）を設置し、地域全体で気になる家庭等への見守りを行う体制を整備する区市町村を支援

当日映像

<https://youtu.be/BiGl1X3JRQY?t=615>

グループ3

テーマ： ジェンダー平等と子育て

発表名： 『誰も取りこぼさない子育て社会』に向けて

<要旨>

- 「男女の育休取得率の差」について、職場の理解が低かったり、そもそも制度を知らなかったりということが、育休制度利用の弊害となっている。実際に男性が育休を取得しても何をしたらよいかわからない。
- 「LGBTQ+と子育て」について、大人よりも中高生の方が認知度は高い。大人への教育機会が少なく、理解が進んでいない。子供に対する学校のサポートも足りないと中高生は感じている。
- 男女を前提とした制度や社会の理解不足により、LGBTQ+の方の子育てへの抵抗感は高まっている

<提案>

- 育休制度は制度自体の問題というよりも、育児のいろはを教える機会の提供や、制度を活用するためのSNSなどを使った広報活動に力を入れて、育児に対する不安感を取り除くことが必要
- 中高生のうちから男女問わず子育てや育休についての知識を身につけることが必要
- 大人のLGBTQ+の学習の機会を充実すること、子育て政策の対象範囲を広げ、LGBTQ+を含めた全ての人々に適用することが必要

<関係する都の施策>

- 働くパパママ育休取得応援事業（産業労働局）
従業員に、希望する期間（1年以上）の育児休業を取得・復帰させた企業に助成金を支給し、育児中の雇用継続を確保する取組を支援
- 東京都性自認及び性的指向に関する基本計画（総務局）

当日映像

<https://youtu.be/BiGl1X3JRQY?t=1081>

グループ4

テーマ： 外国にルーツを持つ子供と暮らし
発表名： 外国にルーツを持つ子どもと暮らし

<要旨>

- 外国にルーツを持つ子供へのインタビューを行った結果、子供たちが普段の生活の中で「同調圧力」「外見」「生活習慣の違い」を感じていることが判明
- 外国にルーツを持つ子供へのアンケート調査では、学校教育における「多様性」、同じバックグラウンドを持つ子供のコミュニティ、文化や慣習、言語の違いに壁を感じた際の心のケアが重要との結果

<提案>

- 外国にルーツを持つ子供が安心して自分らしく過ごすことができる、もうひとつの家のような暖かい環境として、「+IEMO(プラス イエモ)」を提案
- 「**I**nformation Provision」(情報提供)、「**E**ducation For Accepting Diversity」(多様性を受け入れるための教育)、「**M**ental Seminar」(メンターによるサポート制度)、「**O**nline / offline Community」(オンライン/オフラインでの交流の場の提供)の頭文字からとった概念
- 外国にルーツを持つ子供が情報を得るために最も利用しているSNSを活用して、周知を図ること

<関係する都の施策>

- 在住外国人の生活支援(多文化共生の推進)(生活文化局)
 - ・ 東京都多言語相談ナビ(東京で暮らす外国人が日々の生活での困りごとや知りたいことを相談できる窓口)
 - ・ 東京都多文化共生ポータルサイトの運営と情報発信
 - ・ 東京で初めて生活を始める方向けの生活情報冊子「Life in Tokyo:Your Guide」(日・英・中・韓・ベトナム・ネパール)の発行

当日映像

<https://youtu.be/BiGl1X3JRQY?t=1806>

グループ5

テーマ： 未来の「まち」を考えよう
発表名： 未来の「まち」を考える

<要旨>

- 「イベント」と「環境・施設」という2つに課題を分け、インタビュー調査を実施。
- イベントについては、地域のイベント情報が手に入りづらいことが問題。
- 環境・施設では、「公園」の存在意義について、幼い子供だけでなくすべての年齢層が気軽に楽しめる空間へと公園のイメージを変えることが必要

<提案>

- より多くの媒体を使って宣伝をしていくことでイベント参加人数が増え、まちが活性化するのではないかな。また、多くの人に参加したいと思うイベントを企画することで、貴重な体験が得られ、地域交流が深められるのではないかな
- 行政のHPや広報で、公園が周囲の人への配慮ができる社会づくりに役立つことを周知してはどうか
- 公園で子供だけではなく、幅広い世代に向けてイベントを開催し、公園をきっかけに地域のコミュニティが活性化するのではないかな

<関係する都の施策>

- 緑の拠点となる公園の整備（建設局）
都民に安らぎやレクリエーションの場を提供する都立公園の整備を推進
- 区市町村福祉のまちづくりに関する基盤整備事業（福祉保健局）
区市町村が自ら行う福祉のまちづくり条例に適合した公共的施設、道路、公園等の整備や、小規模店舗など身近な建築物のバリアフリー化整備を行う民間事業者に対する整備費の一部を助成する事業に対し支援

当日映像

<https://youtu.be/BiGl1X3JRQY?t=2507>